

1 日 時： 平成 29 年 2 月 21 日 (火) 16 時 00 分～17 時 00 分

2 場 所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

(敬称略)

近畿大学 教職教育部長 教授	田中 保和
大阪市立成南中学校長	菱田 準子
平成 28 年度 清友会理事	小林 裕子
平成 26 年度 PTA 会長	井筒 記美恵
平成 28 年度 清援会会長	佐々木 博康
平成 28 年度 PTA 会長	亀井 仁志

校内出席者

校長、教頭 (事務局長)、事務長、首席 2 名

※記録：首席

#### 4 会長挨拶

校長挨拶：本校は女子生徒が多く、トイレ待ちの列ができる状況である。そのため、大阪府教育庁へトイレ問題対策を要望してきた。来年度夏休み～10月(0期：5校着工)にトイレ改修を行う予定である。

配布資料確認

#### 5 協議

##### ①平成 28 年度 学校教育自己診断 集計結果についての説明 (首席)

- ・平成 28 年度 1 月に調査実施。肯定率の説明。

##### (1) 生徒の回答について

- ・学校生活全般については、入学後の満足度が過去最高の肯定率となった。
- ・部活動や自治活動、生徒指導についても肯定率が上昇した。
- ・外部との交流については、オーストラリアからの留学生受け入れ年ということもあり、肯定率が過去最高を更新した。

##### (2) 保護者の回答について

- ・「子供が入学して良かったと思える学校である。」という質問への肯定率は 95.9%であった。
- ・「適切なレベルと進み具合で授業している。」「保護者が授業参観や学校行事に参加できる機会がある。」という質問に対しても肯定率が上昇した。

##### (3) 教職員の回答について

- ・世代を繋ぐコミュニケーションの場を設けるなど、教職員間の意思疎通の円滑化を図る必要がある。

## ②平成28年度学校経営計画及び学校評価（案）についての説明（校長）

### （Ⅰ）学習指導の充実について

- ・11月に東京都立両国高校・小山台高校先進事例視察を実施。その後、職員研修において先進校で得た情報を教員間で共有した。
- ・センター試験出願者は一昨年度並みに回復した。

### （Ⅱ）生徒指導の充実

- ・「学校は人権を学ぶ機会を設けている」という質問に対する肯定率は上昇した。
- ・保護者向け携帯メールを週1回送付したことにより「家庭への連絡や意思疎通」に対する肯定率が上昇した。

### （Ⅲ）学校運営の充実

- ・教員が授業見学を行い、主体性のある学習態度育成について研究協議及び意見交換を実施した。
- ・本校主催の学校見学会・体験入学を1回増やし5回開催とした。

## ③平成29年度学校経営計画及び学校評価（案）についての説明（校長）

- ・「学習指導の充実」では、国公立大学の合格者増加を目指す。また、家庭学習時間を伸ばす取り組みを進めたい。
- ・「生徒、教職員の健康管理」を中期目標の大項目とした。生徒・教職員の健康管理体制の充実を大事にしたい。

### 〔委員からの意見・質問〕

- ・生徒が清水谷で学ぶことでの満足度が高いのは何故か。  
→ 部活動・自治活動・学習活動の三本柱が浸透している結果と思われる。
- ・「教育相談」に関する項目の肯定率が上昇したのは何故か。  
→ スクールカウンセラーより「担任が生徒の変化に気づき、教育相談担当者やスクールカウンセラーに繋ぐのが他校よりも速い」との感想をいただいている。
- ・生徒の回答での肯定率上昇の背景には高校入学時の難関を突破した満足感もある。
- ・教員による相互の授業見学などの取り組みが高い授業評価に繋がっている。教員が授業に力を入れていることは保護者として嬉しい。
- ・学区撤廃前後の学校の雰囲気の違いはあるのか。→ 雰囲気は昔と変わらず良い。
- ・もっと生徒の個性を引き出せる取り組みがあれば良いと思う。
- ・スマホの使用時間が学習時間の低下を招いているのではないか。

## 6 連絡 「平成29年度清水谷高等学校 学校協議会」について

議事終了 17:00